

令和 8（2026）年度

東京大学大学院経済学研究科博士課程学生募集要項補足説明書

本説明書は令和 8（2026）年度東京大学大学院経済学研究科博士課程学生募集要項を補足するものである。
提出書類の作成及び受験に当たり必ず参照すること。

1. 本研究科の専攻の編成と概要

本研究科には、経済、マネジメントの二つの専攻が設けられている。経済専攻は、(1) 経済学、(2) 統計学、(3) 地域研究、(4) 経済史の四つのコースが設けられており、(1) は経済学の研究を、(2) は統計学の研究を、(3) は地域研究を、(4) は経済史の研究をそれぞれ主な目的とするコースである。マネジメント専攻は、(1) 経営学、(2) 数量ファイナンスの二つのコースが設けられており、(1) は企業及び市場組織の分析並びに会計の研究を、(2) は金融及びファイナンス理論の研究をそれぞれ主な目的とするコースである。各コースの授業科目は〔参考 1〕、教員名簿は〔参考 2〕のとおりである。

2. 研究計画書について

（本研究科修士課程修了見込みの者は提出不要。）

- ① 使用言語は、日本語又は英語とする。
- ② A4 判の用紙を使用し、今後の研究テーマ、研究目的及び研究方法について、日本語の場合は 2,000 字程度、英語の場合はダブルスペースで 2 枚以内にまとめること。
- ③ 募集要項掲載の作成見本を参照のうえ、最初のページの冒頭に、「研究計画書」と明記し、氏名、志望コース、研究テーマを記載すること。統計学コース、経営学コース、数量ファイナンスコースの志望者は、志望指導教員名も記載すること。
- ④ 用紙の左上を 1 部ずつホチキスで留めること。
- ⑤ 同一の研究計画書を 3 部提出すること。

3. 提出論文について

（本研究科修士課程修了見込みの者は提出不要。）

修士の学位論文又はそれに代わる論文を、表紙に論文題目・氏名・志望コースを明記して提出すること。
提出する論文の使用言語は、日本語又は英語とする。

論文を提出する場合は、以下の点に留意すること。

- ① 形態：一部ずつファイルに綴じ、論文タイトルを付ける。適宜、小見出しを付ける。
なお、綴じるファイルの種類は問わないが、クリップ等は避け、はずれないようしっかりと綴じること。
- ② 日本語で作成する場合：A4 判の用紙を使用。
- ③ 英語で作成する場合：A4 判の用紙を使用。ダブルスペース。
- ④ 提出部数：1 つの論文につき 3 部提出すること（「写し」で差し支えない）。

4. 参考業績について

(本研究科修士課程修了見込みの者は提出不要。)

- ① 参考業績として、未発表のものも含めた、著書、論文、調査・報告書、学会報告等を提出することができる。
- ② 日本語又は英語以外の外国語で記述された参考業績については、日本語（A4判の用紙で800字以内）又は英語（A4判の用紙でダブルスペース1枚以内）の要約を添付して提出すること。
- ③ 参考業績を提出する場合は、参考業績のタイトル、発表時期、既発表・未発表の別等を発表時期の順に記載した「参考業績リスト（ホームページ掲載の作成見本参照）」を作成し、参考業績と併せて提出すること。なお、共同業績の場合は、志願者の貢献部分を明記すること
- ④ 各参考業績の表紙にそれぞれ氏名を記入すること。
- ⑤ 参考業績は、「写し」で差し支えない。

5. 成績証明書及び修了（見込）証明書について

(本研究科修士課程修了者（見込みを含む）は提出不要。)

出身（在学）大学が発行した紙媒体の証明書（コピーや電子媒体は不可）であり、修士課程（博士前期課程）の成績及び修了（見込）を証明するものを提出すること。日本語又は英語以外の言語を使用している場合は、原本及びその日本語訳を提出すること。（大学を退学して別の大学に入学し、修了（見込）した場合、退学をした大学分の成績証明書も必要である。）

外国の大学を修了した場合（修了見込み含む）は、取得学位名及び学位取得（見込）年月が記載された修了（見込）証明書を提出すること。

6. 推薦書について

(本研究科修士課程修了見込みの者は提出不要。)

推薦書は、統計学コース及び経営学コースは1通必須、2通目任意とする。

経済学コース、地域研究コース、経済史コース及び数量ファイナンスコースは提出することが望ましいが、その提出は任意とする。ホームページ掲載の作成見本を参照のうえ作成してもらうこと。

7. 外国人出願者への注意

- ① 「日本語能力試験 N1 合格の証明書」について

〔日本の高校、大学（大学院）を卒業（修了）した者及び大学院を修了見込みの者、又は、日本に永住許可を得ている者（特別永住者を含む）は提出不要。ただし、提出不要とする根拠資料を提出すること。例えば、日本の高校の卒業証明書、在留カードの写し 等。〕

公益財団法人日本国際教育支援協会及び国際交流基金が実施している日本語能力試験 N1 レベル（1級）の合否結果通知書の写し又は N1 レベル（1級）合格を証明した日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書の写しを提出すること。N1 レベル（1級）の日本語能力認定証の写しのみではなく、成績も提出すること。出願受付期間内に提出できない場合は、願書は受理しない。

なお、上記以外の証明書による日本語学力の証明は認めない。

- ② 出願時現在、日本政府（文部科学省）から奨学金を得ている留学生については、その在籍大学から発

行された「国費留学生証明書」を提出すること。この証明書がない場合は、検定料を納付しなければならない。ただし、東京大学に籍を置く者については、提出不要。

8. 口述試験における外国語能力の審査について

経済史等を志望する者については、口述試験において外国語能力の審査を行う場合がある。

9. その他

① 海外居住者の出願方法について

出願時において、海外に居住している者であっても、返信用封筒には日本国内の住所を記入すること。指示を守らずに出願した場合は受理しない。

② その他出願に際して不明な点等があれば、教務チーム大学院担当に問い合わせること。

問い合わせ先 東京大学大学院経済学研究科事務部教務チーム大学院担当

E-mail : gradinfo@e.u-tokyo.ac.jp

〔参考 1〕 令和 7 年度大学院経済学研究科博士課程授業科目表

〔参考 2〕 東京大学大学院経済学研究科コース別教員名簿

〔参考 3〕 外部出願者の合格状況（過去 3 年間）

令和7年度

大学院経済学研究科コース別授業科目

経済専攻		マネジメント専攻	
経 済 学	統 計 学	経 営 学	数量ファイナンス
メカニズムデザイン	経済統計	経営管理研究	上級デリバティブⅠ
ミクロ経済学特論	経営統計	経営戦略研究	上級デリバティブⅡ
マクロ経済学特論	数理統計特論	雇用システム研究	実証ファイナンス
数理経済学	計量経済特論	雇用労働研究	数量ファイナンスⅠ
ミクロ経済学ワークショップⅠ	統計学輪講	フード・システム研究	上級デリバティブ演習Ⅰ
ミクロ経済学ワークショップⅡ	統計学演習	生産システム研究	数量ファイナンスⅡ
マクロ経済学ワークショップⅠ	論文指導（博士）	経営史研究	上級デリバティブ演習Ⅱ
マクロ経済学ワークショップⅡ		国際経営研究	保険数理Ⅰ
理論経済学特論	地域研究	マーケティング研究	保険数理Ⅱ
経済理論演習	経済学史	技術経営研究	保険数理Ⅲ
金融政策	社会・経済思想	管理会計研究	インベストメント
金融システム論	経済原論特論	財務会計研究	経営財務Ⅱ
現代財政Ⅰ	経済学方法論特論	経営組織研究	企業会計
現代財政Ⅱ	アジア経済	経営学ワークショップⅠ	数量ファイナンスとデリバティブ
財政理論	中国経済	経営学ワークショップⅡ	財務会計Ⅱ
公共経済	経済発展	財務・会計ワークショップⅠ	管理会計Ⅱ
開発経済	国際経済特論	財務・会計ワークショップⅡ	コーポレート・ガバナンス
国際貿易	現代経済演習	社内イノベーターワークショップ	資産流動化と不動産ファイナンス
国際金融	論文指導（博士）	経営学特論	企業財務戦略
産業経済		会計学特論	金融機関のリスク管理
労働経済	経済史	社内イノベーター特論	会計学演習
都市経済	近代欧米経済史	経営学演習	会計学特論
ビジネスエコノミクス	現代欧米経済史	会計学演習	管理会計研究
応用計量経済	近代日本経済史	社内イノベーター演習	財務会計研究
現代金融特論	現代日本経済史	論文指導（博士）	財務・会計ワークショップⅠ
現代財政特論	欧米経済史文献・資料研究		財務・会計ワークショップⅡ
国際経済特論	アジア経済史文献・資料研究		アクチュアリーワークショップⅠ
産業経済特論	日本経済史文献・資料研究		アクチュアリーワークショップⅡ
労働経済特論	比較経済史特論		ファイナンスのための確率Ⅰ
現代日本経済特論	経済政策史特論		ファイナンスのための確率Ⅱ
経済学演習	産業史特論		数量ファイナンス特論
論文指導（博士）	経済思想史特論		論文指導（博士）
	経済史演習		
	論文指導（博士）		

東京大学大学院経済学研究科専攻別教員名簿

(令和7年10月)

経済専攻				
経済学コース			経済学コース	
氏名	所属		氏名	所属
神取 道宏	経 済		大津 優貴	空 間
青木 浩介	〃		ZHANG Qianxue	公 共
栗屋 祐	〃		中野 剛	経 済
小島 武仁	〃			
※中嶋 智之	〃		統計学コース	
楡井 誠	〃		氏名	所属
松島 斉	〃			
山本 裕一	〃		大森 裕浩	経 済
野田 俊也	〃		奥井 亮	〃
今村 謙三	〃		下津 克己	〃
※飯塚 敏晃	経 済		倉田 博史	総 合
岩本 康志	〃		福元健太郎	法 政
植田 健一	〃		※入江 薫	経 済
大橋 弘	〃		今泉 允聡	総 合
小川 光	〃		栗栖 大輔	空 間
尾山 大輔	〃		松田 孟留	情 理
川合 慶	〃		明石 郁哉	経 済
川口 大司	〃			
佐藤 泰裕	〃		地域研究コース	
澤田 康幸	〃		氏名	所属
※新谷 元嗣	〃			
高崎 善人	〃		野原 慎司	経 済
林 正義	〃		丸川 知雄	社 研
肥後 雅博	〃		青山 和佳	東文研
福田 慎一	〃		伊藤 亜聖	社 研
※古澤 泰治	〃		樋渡 雅人	総 合
星 岳雄	〃			
松井 彰彦	〃		経済史コース	
柳川 範之	〃		氏名	所属
※山口慎太郎	〃			
渡辺 安虎	〃		石原 俊時	経 済
CHEN Stacey	公 共		城山 智子	〃
石原 章史	社 研		中林 真幸	社 研
加藤 晋	〃		中村 尚史	〃
近藤 絢子	〃		今泉 飛鳥	経 済
佐々木 弾	〃		小島 庸平	〃
庄司 匡宏	〃		森本 真世	社 研
田中 隆一	〃		佐々木 優	経 済
松村 敏弘	〃			
高橋 孝明	空 間			
GRIFFEN, Andrew	経 済			
田中 万理	〃			
仲田 泰祐	〃			
岡地 迪尚	総 合			
WEESE, Eric	社 研			
川田 恵介	〃			
石出 旭	経 済			
坂口 翔政	〃			
SON, Suk Joon	〃			
高木 悠貴	〃			
LOU, Yichuan	〃			

マネジメント専攻			
経営学コース		数量ファイナンスコース	
氏名	所属	氏名	所属
大日方 隆	経 済	高橋 明彦	経 済
粕谷 誠	〃	佐藤 整尚	〃
首藤 昭信	〃	白谷健一郎	〃
藤岡 里圭	〃	藤井 優成	〃
米山 正樹	〃		
清水 剛	総 合		
稲水 伸行	経 済		
大木 清弘	〃		
桑嶋 健一	〃		
※山本 浩司	〃		
舟津 昌平	〃		
元木 康介	〃		
玄田 有史	社 研		

※令和7年度サバティカル教員

中嶋 智之	令和7年 4月～令和8年 3月
飯塚 敏晃	令和7年 4月～令和8年 3月
新谷 元嗣	令和7年 4月～令和8年 3月
山口慎太郎	令和7年10月～令和8年 9月
古澤 泰治	令和7年10月～令和8年 9月
山本 浩司	令和7年10月～令和8年 9月
入江 薫	令和7年10月～令和8年 9月

- 経 済：経済学研究科
公 共：公共政策学教育部
社 研：社会科学研究所
東文研：東洋文化研究所
総 合：総合文化研究科
工 学：工学系研究科
空 間：空間情報科学研究センター
先 端：先端科学技術研究センター

〔参考 3〕

外部出願者の合格状況

(過去 3 年間)

(単位：人)

コース		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
経済学	出願者	7	5	11
	合格者	0	0	3
統計学	出願者	1	0	1
	合格者	0	0	1
地域研究	出願者	0	2	0
	合格者	0	2	0
経済史	出願者	0	2	3
	合格者	0	1	3
経営学	出願者	4	7	5
	合格者	2	2	1
数量ファイナンス	出願者	0	0	4
	合格者	0	0	0
計	出願者	12	16	24
	合格者	2	5	8